

第3節 経済学部

学部概要

國學院大學経済学部は、1966年の開設以来、毎年500名を超える卒業生を輩出してきました。50年を超える歴史の中で、本学部は継続的なカリキュラム改革や学部学科改組を重ね、社会の変化や課題に応じた教育を提供してきました。

多元化しグローバル化の進展する現代社会では、経済学の基礎力と日本経済に関する知見を兼ね備え、未来への実践的で創造的な対応力を身につける必要があります。

経済学部はさらなる進化を遂げるべく、2020年4月から2学科8コースの新体制で新しく生まれ変わりました。新しい経済学部では、将来を見据えた段階的・系統的なカリキュラムに加え、主体的な学修を促し、成長を実感できる科目が充実しています。3年次前期からは、以下に示す経済学科5コース、経営学科3コースから選択した学びを通じて、社会に貢献できる専門的教養人を育成します。

経済学部の詳細は、國學院大學ホームページから閲覧可能です。

(掲載場所)

國學院大學ホームページ：

トップページ > 教育 > 学部・学科 > 経済学部

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/economics>



経済学部各学科の教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは、國學院大學ホームページから閲覧可能です。

(掲載場所)

國學院大學ホームページ：

トップページ > 教育 > 学部・学科 > 経済学部 > 経済学部について

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/economics/about>



教育研究上の目的

経済学部は、多元化しグローバル化の進展する社会の中にあって、経済学の基礎力と日本経済に関する知見を兼ね備え、未来への実践的で創造的な対応力を身につけた、社会に貢献できる専門的教養人を育成することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

経済学部は、以下の能力を備えた人材を育成します。

A 知識・技能

- (DP-A1) 経済学の基礎知識を理解している。
- (DP-A2) 日本経済の現状を簡潔に解説できる。
- (DP-A3) ICTを活用して適切な情報収集と処理ができる。

B 思考力・判断力・表現力

- (DP-B1) 質的量的データを用いて考えることができる。
- (DP-B2) 信頼できる情報に基づき意見を述べることができる。
- (DP-B3) 適切な言葉で表現しコミュニケーションできる。

- C 主体性を保持しつつ多様な人々と協働して学ぶ態度
 (DP-C1) 課題に主体的に取り組む態度をもつ。
 (DP-C2) チームで協働的に問題を解決できる。
 (DP-C3) 多様な価値観を受け入れることができる。
 (DP-C4) 職業人生を主体的に選択し準備することができる。

経済学部は、國學院大學全体の卒業認定・学位授与方針を踏まえ、上記の能力・態度を身につけるために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定するとともに、学士課程の学位（経済学科は経済学、経営学科は経営学）を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

経済学部は、学位授与方針が示す教育目標を達成するため、次のような教育課程を編成しています。

- 共通教育科目では、言語系・STEM系・シチズンシップ・ライフデザインなど幅広い分野の必修および選択必修科目から主体的に履修し、総合的・学際的に学修します。
- 専門教育科目では、「学部共通科目」「学科基礎科目」「学科専門科目」「学科応用科目」「専門演習科目」「関連科目」からなる科目群を編成し、段階的で系統的に経済学や日本経済をはじめとする専門的基礎力が身につくようにします。
- 「学部共通科目」では、経済学部の教育理念の体得と学部での学修に必要な基礎的知識・技能・技法・態度が身につくようにします。
- 「学科基礎科目」では、経済学や経営学に関する基礎的知識・理論・技法を学修し、経済的・社会的・経営的事象を分析するフレームワークが身につくようにします。
- 「学科専門科目」では、各コースの学修に必要な専門的知識・理論・技法を修得し、経済的・社会的・経営的課題の解明に向けた能力を涵養します。
- 「学科応用科目」では、経済学や経営学に関する応用的・発展的知識・理論・技法を学修し、経済的・社会的・経営的課題の解明に向けた能力を涵養します。
- 「専門演習科目」では、個人的な研究関心に基づき、専門分野を主体的に学修するための知識・技能・技法・態度が身につくようにします。
- 「関連科目」では、現代社会の経済的・経営的課題を主体的かつ協働的に解決するための実践的スキルを修得するとともに、職業人生を主体的に選択する態度を涵養します。

また、経済学部では、学位授与方針が示す教育目標を達成するため、次のように教育課程を実施しています。

- 「履修条件科目」や「履修制限」を設け、専門科目の系統的履修を徹底しています。
- 「講義系科目」「演習系科目」「実習系科目」をバランスよく配置し、学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を保持しつつ多様な人々と協働して学ぶ態度）が身につくようにします。
- 「演習系科目」では、グループワークやグループディスカッションなどのアクティブラーニングを通じて、主体的な学修を促すとともに、専門的知識・技能を定着させ実践力や創造力を涵養します。

履修について（経済学科・経営学科共通）

卒業に必要な最低単位数

本学に4年（8学期）以上在学し、所定の単位を修得すれば卒業と認定し、経済学部にあつては、経済学科は学士（経済学）、経営学科は学士（経営学）の学位が授与される。ただし、1～4年次の各年次に1学期以上在学することが必要である。卒業に要する単位数は下表のとおりである。

科目区分	経済・経営学科
共通教育科目	36単位
専門教育科目	74単位
右記①～③の分野から自由に選択 ^{※1}	① 共通教育科目で36単位を超えた単位 ② 専門教育科目で74単位を超えた単位 ③ 全学オープン科目の単位 14単位 ^{※2}
合計	124単位以上 ^{※3}

※1 自身の学修計画に応じて①～③の分野から自由に選択し、14単位修得すること。

※2 必ずしも①～③の各分野から組合せて充当する必要はなく、特定の分野のみで14単位充当することも可能。

※3 各学科の履修規程に基づいて上表のとおり単位を修得し、合計124単位以上修得すること。

進級条件（経済学科・経営学科共通）

進級の時期は各年度の初めとする。進級するには、各年次において1学期以上在学することが必要である。また、1年次から2年次への進級には卒業に要する単位で次の条件を満たしていなければならない。

学部共通科目の必修2科目4単位を含む10単位以上を修得すること。

さらに2年次から3年次への進級には、2年次終了までに3学期以上在学し、卒業に要する単位で次の条件を満たしていなければならない。

以下の要件を含む34単位以上を修得すること。

- 共通教育プログラムの言語スキル科目群で選択必修の英語「英語Ⅰ～Ⅴ」から4科目8単位及び学部専門英語科目で選択必修の2科目4単位の計6科目12単位のうち4科目8単位以上
- 共通教育プログラムのSTEM系科目群で必修の「コンピュータと情報Ⅰ」1科目2単位
- 学部共通科目で選択必修の「基礎演習B」「経済理論入門」「世界経済入門」「経済史入門」「経営入門」「会計入門」計6科目12単位のうち4科目8単位以上

コースの選択

コースの選択は3年次前期の履修登録の際に行う。この際に登録したコースが最終決定となり、その後の変更は一切認められない。ついては、2年前期の「演習Ⅰ」応募を経て、2年次後期にコースの仮登録をする際も、3年次にどのコースを選択し登録するかを充分に考えて履修登録すること。また、2年次から開講されるコース別選択必修科目もあり、系統履修を必要とする科目（その履修科目の前提科目が修得済みであること）もあるので注意すること（専門演習指導教員の指示によっては、登録すべきコースや履修すべき科目を指定されることがある）。

年次別履修単位制限（CAP制）

年次別に登録できる単位数が制限されているので、年次別の枠を超えて履修することはできない（7ページ参照）。

検定・資格試験による単位認定

検定に合格、または資格を取得することにより、経済学部専門教育科目として単位の認定を受けることができます（14ページ参照）。

履修条件科目

履修にあたっては、単位修得が条件となる科目もある。特に、学部共通科目（学部コア科目）のうち「基礎演習B」「経済理論入門」「世界経済入門」「経済史入門」「経営入門」「統計入門」「経済経営数学入門」「会計入門」の8科目は、学科基礎科目や学科専門科目など経済学部の専門教育科目を系統的に履修する上で重要な科目である。したがって、上記8科目については、1年次にクラス指定を行っており、すべての学生が履修登録されている。また、クラス指定された科目は、履修登録を解除することはできない（ただし、検定試験による単位認定を除く）。

演習の同時履修

「演習Ⅲ（卒業論文）A」は「演習ⅡB」、「演習Ⅲ（卒業論文）B」は「演習Ⅲ（卒業論文）A」の単位修得が履修するための条件となる。ただし、教務委員・指導教員の了承が得られた場合に限り、「演習ⅡB・演習Ⅲ（卒業論文）A」または「演習Ⅲ（卒業論文）A・演習Ⅲ（卒業論文）B」を4年次に同時履修することができる。

卒業論文の意義

経済学科・経営学科の学生は、大学における主体的な学修と各自の問題意識に沿った研究成果の集大成として、専門演習加入者は4年次に卒業論文を提出しなければならない。その単位は「演習Ⅲ（卒業論文）A・B」の2科目4単位と定められている（ただし、「演習Ⅰ」「演習ⅡA・B」を修得する必要がある）。指導教員は学生の自主性を重んじつつ、個別に指導・助言に当たる。学生諸君は、卒業論文を作成することによって、経済学や経営学など社会科学における自己の学問的立場を明確にし、社会に貢献しうる専門的基礎力をもった教養人としての基盤を得るのであるから、その意義の重要性を十分認識し、研究方法と倫理を踏まえて作成しなければならない。論文作成の期間は終始積極的に指導教員の指導を受け、中間報告をすることが求められる。

なお、卒業論文の用紙、枚数・体裁、提出期日については別途定めるところによる。

卒業レポートの意義

経済学科・経営学科の学生は、大学における主体的な学修と各自の問題意識に沿った研究成果の集大成として、専門演習非加入者（リタイア含む）は4年次に卒業レポートを提出しなければならない。その単位は「卒業レポート演習」の1科目2単位と定められている（ただし、学科専門科目からさらに4科目8単位以上修得しなければならない）。卒業レポートを選択した学生諸君も、卒業論文と同様にその意義を十分認識し、研究方法と倫理を踏まえて作成しなければならない。レポート作成の期間は終始積極的に担当教員の指導を受け、中間報告をすることが求められる。

なお、卒業レポートの用紙、枚数・体裁、提出期日については別途定めるところによる。

1. 経済学科

経済学科には、「経済理論とデータ分析」「経済史」「地域経済」「日本経済」「グローバル経済」の5コースがあり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修方法が異なる。学生諸君は、いずれかのコースを選択し履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

各コースについて

経済理論とデータ分析コース

多様で複雑な経済事象。この難しい問題を解き明かすためには、問題に関する仮説を立て、それを現実のデータに当てはめて実証する必要があります。このコースでは、そうした仮説の立案や実証に不可欠の分析ツール（道具）である、経済理論とデータ分析の手法を習得し、さまざまな領域の課題の解明と解決を目指します。

経済史コース

歴史とは過去に起こったことを解釈することによって、未来を創ろうとすることです。このコースでは、世界の諸地域や日本の経済の歩みを学修することを通じて、現代における諸問題の本質を明らかにします。それによって、今後の日本経済のあり方を展望することを目指します。

地域経済コース

地域のグローバル化は同時にローカル化も進展させます。グローバルシティの台頭は、国民経済を超えて地域と地域が直接結びつくという現代的な地域の姿を端的に示しています。このコースでは、各地域の経済や地域間の結びつきの構造や実態を分析し、地域の魅力とはなんであるかを追究します。それによって、今後の地域経済のあるべき姿を発信、実践することを目指します。

日本経済コース

今ほど「日本を学び世界を知る」姿勢が問われている時代はありません。このコースでは、グローバル化の進展する日本経済が抱える問題を財政・金融・労働などの分野から整理し、多角的に分析します。それによって、日本経済の未来に向けた課題の解明と解決を目指します。

グローバル経済コース

国際経済の中では、さまざまな国や地域の経済が複雑に絡み合い、相互に影響を及ぼし合っています。このコースでは、国際経済に関する専門的な知識を学修し、グローバル化のもたらすメリット・デメリットを分析します。それによって、世界経済の中で日本が、さらに私たちの暮らす地域が果たすべき貢献とは何かを明確にすることを目指します。

カリキュラムの構成と履修方法

1. 卒業論文を履修した学生は「演習Ⅲ（卒業論文）A・B」2科目4単位を必修とする。4年次前期の「演習Ⅲ（卒業論文）A」履修登録時に、教務委員・指導教員の下承を得ることにより、履修/非履修の変更ができる。それ以降の変更は、原則として認めない。
2. 卒業論文の題目届は、第一次（3年次の「演習ⅡB」終了時）及び第二次（4年次の「演習Ⅲ（卒業論文）A」終了時）の2回行う。題目の未提出者は卒業論文を提出することができない。また、第一次題目を登録しなかったものは、第二次題目を登録する資格を失う。
3. 卒業論文を履修しない学生（専門演習をリタイアした学生も含む）は「卒業レポート演習」1科目2単位を必修とする。ただし、学科専門科目からさらに4科目8単位以上修得しなければならない。なお、学科基礎科目の超過分は2科目4単位まで算入可とする。

卒業論文履修者

科目区分		履修方法	単位数	備考
学部 共通 科目	初年次教育	必修	2科目4単位	*
	学部コア科目	選択必修	7科目14単位以上 ^{※1} ／10科目20単位	*
	専門英語科目	選択必修	2科目4単位以上 ／4科目8単位	*
学科基礎科目		選択必修	7科目14単位以上 ／12科目24単位	超過分は学科専門科目へ 2科目4単位まで算入可
学科専門科目 (Ⅰ～Ⅵ類)		選択必修	5科目10単位以上 ／28科目56単位	★から3科目6単位及び ☆から1科目2単位を含む
学科応用科目 (Ⅰ～Ⅴ類)		選択必修	4科目8単位以上 ／23科目46単位	Ⅰ～Ⅴ類の1つの類から2科目4 単位を含む
専門演習科目		必修	2科目4単位 ^{※2} ／10科目20単位	演習Ⅲ(卒業論文)A・B
関連科目 (Ⅰ～Ⅲ類)		*	* ／23科目46単位	*
合計			74単位以上	

卒業論文非履修者

科目区分		履修方法	単位数	備考
学部 共通 科目	初年次教育	必修	2科目4単位	*
	学部コア科目	選択必修	7科目14単位以上 ^{※1} ／10科目20単位	*
	専門英語科目	選択必修	2科目4単位以上 ／4科目8単位	*
学科基礎科目		選択必修	7科目14単位以上 ／12科目24単位	超過分は学科専門科目へ 2科目4単位まで算入可
学科専門科目 (Ⅰ～Ⅵ類)		選択必修	9科目18単位以上 ／28科目56単位	★から3科目6単位及び ☆から1科目2単位を含む
学科応用科目 (Ⅰ～Ⅴ類)		選択必修	4科目8単位以上 ／23科目46単位	Ⅰ～Ⅴ類の1つの類から2科目4 単位を含む
専門演習科目		必修	1科目2単位 ／10科目20単位	卒業レポート演習
関連科目 (Ⅰ～Ⅲ類)		*	* ／23科目46単位	*
合計			74単位以上	

※1 学部共通科目のうち「基礎演習B」は入学年度の後期のみ履修できる(次ページ以降のカリキュラム表参照)。この科目は学部必修科目に準ずる重要な科目であるため、履修を義務付けている。したがって、学生が履修登録をする必要はなく、すべての学生が履修登録されている。前期の「基礎演習A」の評価が「D」または「R」の場合は後期の「基礎演習B」を履修できないが、「基礎演習B」の登録は解除しない。そのため当該時限に他の科目を履修登録することはできない。評価は「R」となるので、「基礎演習A」は極力修得すること。

※2 次ページ以降のカリキュラム表にある「演習Ⅰ」から「演習Ⅲ(卒業論文)A・B」までの専門演習科目は、2年次前期に実施する募集期間に「演習Ⅰ」(学士・編入生及び演習Ⅰ非加入者の場合は「演習ⅡA」)に応募して合格した学生のみ受講できる。なお、合格した「演習Ⅰ」または「演習ⅡA」の担当教員が開講する科目しか受講できない。

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				コース				履修方法	履修制限/ 履修条件科目※ ¹	
				1	2	3	4	経済理論とデータ分析	経済史	地域経済	日本経済			グローバル経済
初年次教育	日本の経済	半期	2	○								2科目4単位必修	2年次以降履修不可 / 1年次クラス指定	
	基礎演習A	半期	2	○									2年次以降履修不可 / 1年次クラス指定	
	基礎演習B	半期	2	○									1年次クラス指定 / 基礎演習A	
	経済理論入門	半期	2	○									1年次クラス指定	
	世界経済入門	半期	2	○									1年次クラス指定	
	経済史入門	半期	2	○									1年次クラス指定	
	統計入門	半期	2	○									1年次クラス指定	
	経済経営数学入門	半期	2	○									1年次クラス指定	
	経営入門	半期	2	○									1年次クラス指定	
	会計入門	半期	2	○									1年次クラス指定	
学部共通科目	経済学史入門	半期	2		○							7科目14単位以上 選択必修		
	社会科学入門	半期	2		○									
	Business Communication I	半期	2		○								2科目4単位以上 選択必修	
	Business Communication II	半期	2		○									
Business Presentation I	半期	2		○										
Business Presentation II	半期	2		○										
専門英語科目	マクロ経済 I	半期	2		○							7科目14単位以上 選択必修	経済理論入門	
	マクロ経済 II	半期	2		○								経済理論入門	
	ミクロ経済 I	半期	2		○								経済理論入門	
	ミクロ経済 II	半期	2		○								経済理論入門	
	ビジネスリサーチ	半期	2		○								経済経営数学入門	
	財政の基礎	半期	2		○								2年次クラス指定	
	金融の基礎	半期	2		○								2年次クラス指定	
	現代日本経済	半期	2		○								世界経済入門	
	国際経済	半期	2		○								現代日本経済	
	労働経済	半期	2		○									
学科基礎科目	社会経済学	半期	2		○									
	地域と都市の経済	半期	2		○								経済理論入門	
	ゲーム理論	半期	2		○		★	☆				7科目14単位以上 選択必修	経済理論入門	
	行動経済学	半期	2		○		★						経済理論入門	
	産業組織論	半期	2		○		★						経済理論入門	
	データ分析の手法 I	半期	2		○		★	☆					統計入門	
	データ分析の手法 II	半期	2		○		★						統計入門	
	マーケティングリサーチ	半期	2		○		★						統計入門	
	日本経済史 I	半期	2		○			★					経済史入門	
	日本経済史 II	半期	2		○			★					経済史入門	
西洋経済史 I	半期	2		○			★				経済史入門			
西洋経済史 II	半期	2		○			★				経済史入門			
アジア経済史	半期	2		○			★				経済史入門			
学科専門科目	地域政策	半期	2		○			☆	★	☆		卒業論文履修者は★ を付してある科目から 3科目6単位および☆ を付してある科目から 1科目2単位を含む計 5科目10単位以上 選択必修	地域と都市の経済	
	都市経済	半期	2		○			☆	★	☆			地域と都市の経済	
	フィールドスタディ	半期	2		○				★	☆			4年次の履修不可/地域と都市の経済	
	地域と行財政	半期	2		○			☆	★	☆			財政の基礎	
	経済地理	半期	2		○				★	☆			地域と都市の経済	
	交通経済	半期	2		○				★	☆			地域と都市の経済	
	日本の金融システム	半期	2		○				☆	★			金融の基礎	
	公共部門と財政	半期	2		○				☆	★			財政の基礎	
	日本経済と政策	半期	2		○			☆	☆	★			現代日本経済	
	社会保障論	半期	2		○		☆	☆	☆	★			現代日本経済	
I類	社会政策論	半期	2		○		☆	☆	☆	★		現代日本経済		
	医療の経済	半期	2		○		☆	☆	★			経済理論入門		
	国際経営	半期	2		○				☆	★		経営入門		
	外国経済	半期	2		○			☆	☆	★		世界経済入門		
	国際通貨と国際金融	半期	2		○				☆	★		金融の基礎		
	開発経済	半期	2		○		☆		☆	★		世界経済入門		
II類	環境経済	半期	2		○		☆		☆	★		経済理論入門		

(次ページに続く)

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				コース					履修方法	履修制限/ 履修条件科目※1		
				1	2	3	4	経済理論とデータ分析	経済史	地域経済	日本経済	グローバル経済				
関連科目	I類	リーダーシップ基礎	半期	2	○									専門教育科目要卒業単位認定上限6単位	1年次のみ履修可/基礎演習A	
		リーダーシップ応用	半期	2		○										3年次以降履修不可/リーダーシップ基礎
		政策デザイン	半期	2		○										4年次の履修不可/基礎演習B
		ビジネスゲーム	半期	2		○										3年次以降履修不可/経営入門, 会計入門
		ビジネスデザイン	半期	2			○									4年次の履修不可/基礎演習B, 経営入門
		II類	現代の企業経営	半期	2		○							専門教育科目要卒業単位認定上限6単位	4年次の履修不可	
		雇用と働き方	半期	2			○									4年次の履修不可
		院友に学ぶキャリア	半期	2			○									4年次の履修不可
		ビジネスインターンシップ	半期	2			○									4年次の履修不可
			キャリア開発	半期	2			○								3年次クラス指定
		III類	日本史概論Ⅰ	半期	2	○										
			日本史概論Ⅱ	半期	2	○										
			東洋史概論Ⅰ	半期	2	○										
			東洋史概論Ⅱ	半期	2	○										
			西洋史概論Ⅰ	半期	2	○										
			西洋史概論Ⅱ	半期	2	○										
			憲法ⅠA	半期	2		○									
			憲法ⅠB	半期	2		○									
			政治学概論	半期	2	○										
		国際政治A	半期	2		○										
		国際政治B	半期	2		○										
		社会学A	半期	2			○									
		社会学B	半期	2			○									

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※1 履修するにあたって、単位修得が条件となる科目のこと

※2 専門演習リタイア含む

※3 ()内のテーマが異なれば複数履修可

※4 学士・編入、4月募集は履修条件なし

2. 経営学科

経営学科には、「ビジネスリーダー」「ビジネスクリエイター」「ビジネスアナリスト」の3コースがあり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修方法が異なる。学生諸君は、いずれかのコースを選択し、履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

各コースについて

ビジネスリーダーコース

このコースでは、経営学と会計学を修得し、市場・組織・戦略について学び、実践力と経営スキルを磨きます。職場となる組織の中で、経営と会計の視点を十分に生かすことを土台に、リーダーシップを発揮して行動できる企業・NPOの管理職、経営者、公務員、団体職員などを養成することを目指します。

ビジネスクリエイターコース

このコースでは、経営学と会計学を修得し、市場・組織・戦略について学び、創造力と課題解決力を磨きます。経営と会計の視点を十分に生かすことを土台に、ベンチャースピリットを堅持し、リスクに立ち向かって新しいビジネスにチャレンジする中小企業経営者、起業家、事業承継者、NPO創業者、社内起業者などを養成することを目指します。

ビジネスアナリストコース

このコースでは、経営学と会計学を修得し、市場・組織・戦略について学び、分析力と論理的思考力を磨きます。経営と会計の視点を十分に生かすことを土台に、ビジネスをサイエンスとして分析できる一連の手法に精通した会計士、銀行員、シンクタンク研究員、事業支援者、ベンチャーキャピタリスト、コンサルタントなどの養成を目指します。

カリキュラムの構成と履修方法

1. 卒業論文を履修した学生は「演習Ⅲ（卒業論文）A・B」2科目4単位を必修とする。4年次前期の「演習Ⅲ（卒業論文）A」履修登録時に、教務委員・指導教員の了承を得ることにより、履修/非履修の変更ができる。それ以降の変更は、原則として認めない。
2. 卒業論文の題目届は、第一次（3年次の「演習ⅡB」終了時）及び第二次（4年次の「演習Ⅲ（卒業論文）A」終了時）の2回行う。題目の未提出者は卒業論文を提出することができない。また、第一次題目を登録しなかったものは、第二次題目を登録する資格を失う。
3. 卒業論文を履修しない学生（専門演習をリタイアした学生も含む）は「卒業レポート演習」1科目2単位を必修とする。ただし、学科専門科目からさらに4科目8単位以上修得しなければならない。なお、学科基礎科目の超過分は2科目4単位まで算入可とする。

卒業論文履修者

科目区分		履修方法	単位数	備考
学部 共通 科目	初年次教育	必修	2科目4単位	*
	学部コア科目	選択必修	7科目14単位以上 ^{※1} ／10科目20単位	*
	専門英語科目	選択必修	2科目4単位以上 ／4科目8単位	*
学科基礎科目		選択必修	6科目12単位以上 ／11科目22単位	超過分は学科専門科目へ 2科目4単位まで算入可
学科専門科目 (Ⅰ～Ⅴ類)		選択必修	6科目12単位以上 ／22科目44単位	★から3科目6単位及び ☆から1科目2単位を含む
学科応用科目 (Ⅰ～Ⅶ類)		選択必修	4科目8単位以上 ／34科目68単位	Ⅰ～Ⅶ類の1つの類から2科目4 単位を含む
専門演習科目		必修	2科目4単位 ^{※2} ／10科目20単位	演習Ⅲ(卒業論文)A・B
関連科目 (Ⅰ・Ⅱ類)		*	*	*
合計			74単位以上	

卒業論文非履修者

科目区分		履修方法	単位数	備考
学部 共通 科目	初年次教育	必修	2科目4単位	*
	学部コア科目	選択必修	7科目14単位以上 ^{※1} ／10科目20単位	*
	専門英語科目	選択必修	2科目4単位以上 ／4科目8単位	*
学科基礎科目		選択必修	6科目12単位以上 ／11科目22単位	超過分は学科専門科目へ 2科目4単位まで算入可
学科専門科目 (Ⅰ～Ⅴ類)		選択必修	10科目20単位以上 ／22科目44単位	★から3科目6単位及び ☆から1科目2単位を含む
学科応用科目 (Ⅰ～Ⅶ類)		選択必修	4科目8単位以上 ／34科目68単位	Ⅰ～Ⅶ類の1つの類から2科目4 単位を含む
専門演習科目		必修	1科目2単位 ／10科目20単位	卒業レポート演習
関連科目 (Ⅰ・Ⅱ類)		*	*	*
合計			74単位以上	

※1 学部共通科目のうち「基礎演習B」は入学年度の後期のみ履修できる(次ページ以降のカリキュラム表参照)。この科目は学部必修科目に準ずる重要な科目であるため、履修を義務付けている。したがって、学生が履修登録をする必要はなく、すべての学生が履修登録されている。前期の「基礎演習A」の評価が「D」または「R」の場合は後期の「基礎演習B」を履修できないが、「基礎演習B」の登録は解除しない。そのため当該時限に他の科目を履修登録することはできない。評価は「R」となるので、「基礎演習A」は極力修得すること。

※2 次ページ以降のカリキュラム表にある「演習Ⅰ」から「演習Ⅲ(卒業論文)A・B」までの専門演習科目は、2年次前期に実施する募集期間に「演習Ⅰ」(学士・編入生及び演習Ⅰ非加入者の場合は「演習Ⅱ」)に応募して合格した学生のみ受講できる。なお、合格した「演習Ⅰ」または「演習Ⅱ」の担当教員が開講する科目しか受講できない。

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				コース			履修方法	履修制限/ 履修条件科目 ^{※1}		
				1	2	3	4	ビジネスリーダー	ビジネスクリエーター	ビジネスアナリスト				
学部共通科目	初年次教育	日本の経済	半期	2	○						2科目4単位必修	2年次以降履修不可 / 1年次クラス指定		
		基礎演習A	半期	2	○							2年次以降履修不可 / 1年次クラス指定		
		基礎演習B	半期	2	○							1年次クラス指定 / 基礎演習A		
	学部コア科目		経済理論入門	半期	2	○						7科目14単位以上 選択必修	1年次クラス指定	
			世界経済入門	半期	2	○							1年次クラス指定	
			経済史入門	半期	2	○							1年次クラス指定	
			統計入門	半期	2	○							1年次クラス指定	
			経済経営数学入門	半期	2	○							1年次クラス指定	
			経営入門	半期	2	○							1年次クラス指定	
			会計入門	半期	2	○							1年次クラス指定	
			経済学史入門	半期	2		○							
	専門英語科目		Business Communication I	半期	2		○					2科目4単位以上 選択必修		
			Business Communication II	半期	2		○							
			Business Presentation I	半期	2		○							
		Business Presentation II	半期	2		○								
学科基礎科目		経営戦略	半期	2		○					6科目12単位以上 選択必修 ※超過分は 学科専門科目へ 2科目4単位まで 算入可	経営入門		
		経営組織	半期	2		○						経営入門		
		経営学史	半期	2		○						経営入門		
		マーケティングの基礎	半期	2		○						経営入門		
		現代ビジネス	半期	2		○						経営入門		
		国際経営	半期	2		○						経営入門		
		ビジネスリサーチ	半期	2		○						経済経営数学入門		
		簿記の基礎	半期	2		○						会計入門		
		財務会計	半期	2		○						会計入門		
		企業財務	半期	2		○						経営入門		
	予算管理	半期	2		○					会計入門				
学科専門科目	I類	マーケティング	半期	2		○			★	★	卒業論文履修者は★ を付してある科目か ら3科目6単位およ び☆を付してある科 目から1科目2単位 を含む計6科目12単 位以上選択必修 卒業論文非履修者 ^{※2} は★を付してある科 目から3科目6単位 および☆を付してあ る科目から1科目2 単位を含む計10科目 20単位以上選択必修	マーケティングの基礎		
		人的資源管理	半期	2		○			★	☆		経営入門		
		経営管理	半期	2			○		★	☆		経営入門		
		生産管理	半期	2			○		★	☆		経営入門		
		組織行動	半期	2			○		★			経営入門		
		日本の中小企業	半期	2		○			★	☆		経営入門		
	II類	ベンチャービジネス	半期	2			○		★	★		☆	経営入門	
		事業承継	半期	2			○		★				日本の中小企業	
		イノベーションマネジメント	半期	2			○		★				経営入門	
		データ分析の手法I	半期	2			○			★			統計入門	
	III類	データ分析の手法II	半期	2			○					☆	統計入門	
		マーケティングリサーチ	半期	2			○			☆		★	統計入門	
		ゲーム理論	半期	2			○					☆	経済理論入門	
		行動経済学	半期	2			○		☆				経済理論入門	
		産業組織論	半期	2			○			☆			経済理論入門	
		原価計算	半期	2		○			☆	★			会計入門	
	IV類	財務諸表分析	半期	2			○		☆	☆		★	会計入門	
		経営分析	半期	2		○			☆	★		★	会計入門	
		応用財務会計	半期	2			○		☆			★	財務会計	
	V類	ビジネスゲーム	半期	2		○							3年次以降履修不可 / 経営入門, 会計入門	
ビジネスデザイン		半期	2			○					4年次の履修不可 / 経営入門, 基礎演習B			
ビジネスソリューション		半期	2			○					4年次の履修不可 / 経営入門, 基礎演習B			

(次ページに続く)

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				コース			履修方法	履修制限／ 履修条件科目 ^{※1}
				1	2	3	4	ビジネスリーダー	ビジネスクリエイター	ビジネスアナリスト		
学科応用科目	経営史	半期	2			○						経営入門
	日本経営史	半期	2			○						経済史入門
	製品戦略	半期	2			○						マーケティングの基礎
	流通論	半期	2			○						マーケティングの基礎
	広告論	半期	2			○						マーケティングの基礎
	企業監査	半期	2			○						会計入門
	税務会計	半期	2			○						会計入門
	公会計	半期	2		○							会計入門
	国際会計	半期	2			○						財務会計
	企業法	半期	2			○						
	マクロ経済Ⅰ	半期	2		○							経済理論入門
	マクロ経済Ⅱ	半期	2		○							経済理論入門
	ミクロ経済Ⅰ	半期	2		○							経済理論入門
	ミクロ経済Ⅱ	半期	2		○							経済理論入門
	財政の基礎	半期	2			○						
	金融の基礎	半期	2			○						
	現代日本経済	半期	2			○						
	国際経済	半期	2			○						
	日本の金融システム	半期	2			○						
	日本経済史Ⅱ	半期	2			○						
	労働経済	半期	2			○						
	地域と都市の経済	半期	2			○						
	地域ブランド論	半期	2			○						
	ジェンダーと経済	半期	2			○						
	アンケート調査Ⅰ	半期	2			○						
	アンケート調査Ⅱ	半期	2			○						
	経済学特論※3	半期	2			○						
	経営学特論※3	半期	2			○						
	経済学特殊講義※3	半期	2			○						
	経営学特殊講義※3	半期	2			○						
	情報システム	半期	2			○						
データ処理	半期	2			○							
データ管理	半期	2			○							
プログラミング	半期	2			○							
演習Ⅰ	半期	2		○								基礎演習B
演習ⅡA	半期	2			○							演習Ⅰ ^{※4}
演習ⅡB	半期	2			○							演習ⅡA
演習Ⅲ(卒業論文)A	半期	2					○					演習ⅡB
演習Ⅲ(卒業論文)B	半期	2					○					演習Ⅲ(卒業論文)A
卒業レポート演習	半期	2					○					
経済特別演習	半期	2					○					
経営特別演習	半期	2					○					
サマーセミナー	集中	2				○						要卒単位に含まない
スプリングセミナー	集中	2				○						要卒単位に含まない
リーダーシップ基礎	半期	2		○								1年次のみ履修可／基礎演習A
リーダーシップ応用	半期	2			○							3年次以降履修不可／リーダーシップ基礎
政策デザイン	半期	2				○						4年次の履修不可／基礎演習B
現代の企業経営	半期	2		○								4年次の履修不可
雇用と働き方	半期	2			○							4年次の履修不可
院友に学ぶキャリア	半期	2			○							4年次の履修不可
フィールドスタディ	半期	2			○							4年次の履修不可／地域と都市の経済
ビジネスインターンシップ	半期	2			○							4年次の履修不可
キャリア開発	半期	2				○						3年次クラス指定
職業指導	半期	2			○							

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※1 履修するにあたって、単位修得が条件となる科目のこと

※2 専門演習リタイア含む

※3 ()内のテーマが異なれば複数履修可

※4 学士・編入、4月募集は履修条件なし